

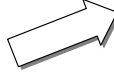
備前市事務事業評価表

事業の概要		コード	05-01-03-01
事務事業名	ボランティア支援センター等管理運営事業		
事業開始年度	平成15年	根拠法令・要綱等	備前市ボランティア支援センター設置条例・備前市サクラガケターミナル設置条例
総合計画	大項目 基本目標	問合せ先	企画課
	中項目 基本施策	担当課(室)	企画課
	小項目 施策	職・氏名	協働推進係長 下林博樹
		電話	64-1806

事業の実施	
対象(誰・何に対して)	ボランティア活動に関心のある人など
目的(何のために)	「ボランティア支援センター」をボランティア活動の拠点とし、ボランティア活動登録やボランティア活動の推進を図るとともにレンタサイクルの貸出などにより市民の健康増進及び市民相互のふれあいを促進する。
行政活動(どのような方法で)	ボランティア支援センター等管理事業(指定管理)
事業の意図する成果(どのような状態にしたいのか)	ボランティア活動の活発化および市民の健康増進の促進。

事業の実績						
活動実績	実施項目	単位	平成17年度実績	平成18年度実績	平成19年度実績	
	センター利用人数	人	4,795	6,271	6,837	
	直接事業費	千円	3,814	4,762	4,766	
	人件費		2,055	1,330	318	
	事業費計		5,869	6,092	5,084	
	財源	国県支出金				
		受益者負担				
		市一般財源		5,869	6,092	5,084
	必要人員	人	0.20	0.15	0.04	
	結果指標	結果指標名	単位	平成17年度実績	平成18年度実績	平成19年度実績
利用人数		人	4,795	6,271	6,837	
結果指標量		人	4,795	6,271	6,837	
対前年比		%	-	130.8%	109.0%	
活動コスト		円	5,869,000	6,092,000	5,084,000	
結果指標	結果指標名	単位	平成17年度実績	平成18年度実績	平成19年度実績	
	結果指標量	人	4,795	6,271	6,837	
	対前年比	%	-	130.78%	109.03%	
活動コスト	円	5,869,000	6,092,000	5,084,000		
単位当たりコスト	円	1,223,983	971,456	743,601		

事業の成果			
成果指標名	利用人数	式又は説明	利用人数
			17年度
			18年度
			19年度
成果指標量	4,795		6,271
対前年比			130.78%
			109.03%
到達目標値	7,500	到達目標年度	平成21年度



事業の目的、対象、内容、コストを考慮しながら目的の達成率の評価を行って下さい。

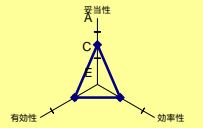
事業の目的やその数値目標である成果指標に留意しながら有効性の評価を行って下さい。

(平成19年度事業)

事務事業の評価		妥当性評価<A-E>	C	
目的	<input type="checkbox"/> 開法令等で目的が定められており妥当である(法律・政省令)	課題認識	ボランティア活動の拠点としてボランティア活動の推進、啓発事業などを積極的に展開していくことが必要であり、目的は妥当である。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的は妥当である			
	<input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている			
行政活動	<input type="checkbox"/> 事業の目的を達成するためには、現在の行政活動以外に方法はない	課題認識	施設の認知度が低く、利用者数も非常に少ないため、施設の活用促進を図って行く必要がある。	
	<input type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも事業の意図する成果を見直す必要はない			
	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の意図する成果			
市民ニーズ	<input type="checkbox"/> 対象を見直す必要がある	課題認識	効果率性評価<A-E>	
	<input checked="" type="checkbox"/> 本市が関与しなければならない事業である			D
	<input type="checkbox"/> 事業を取り止めた場合の市民への影響は大きい			
市の関与	<input type="checkbox"/> 事業を取り止めた場合の市民への影響は克服できる範囲内である	課題認識	効果率性評価<A-E>	
	<input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の努力をしており、低減余地は大きい			D
	<input type="checkbox"/> コスト削減の努力はしているが、低減余地は小さい			
効率性の評価	<input type="checkbox"/> サービスを低下させずにコストを削減することは困難	課題認識	効果率性評価<A-E>	
	<input type="checkbox"/> 受益者負担額を見直す余地がある			D
	<input checked="" type="checkbox"/> サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない			
職	<input checked="" type="checkbox"/> 最善な手段を求めて職場内で改善している	課題認識	効果率性評価<A-E>	
	<input type="checkbox"/> 現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある			D
	<input checked="" type="checkbox"/> 事業に関して事務改善等作業効率の向上に努めている			
目的達成度	<input type="checkbox"/> 事業に関するOJT(職場研修)は行われている	課題認識	効果率性評価<A-E>	
	<input type="checkbox"/> 事業実施について、職員の意見・要望が反映されやすい			D
	<input checked="" type="checkbox"/> 成果指標の目標値は目標年度に達成できそうである			
有効性の評価	<input checked="" type="checkbox"/> 成果指標は前年度より向上している	課題認識	効果率性評価<A-E>	
	<input type="checkbox"/> 成果は向上しており今後も向上する見込みである			D
	<input checked="" type="checkbox"/> 今後、成果指標は向上する余地がある			
市民参画度	<input type="checkbox"/> 事業について積極的に情報提供している	課題認識	効果率性評価<A-E>	
	<input type="checkbox"/> 事業実施等で積極的に市民意見を反映している			D
	<input type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している			
	<input type="checkbox"/> 事業のプラン作りから市民参加を得る手段をとっている			

平成20年度の状況		説明	ボランティア支援センター等の管理を指定管理者に行わせ、その委託料を支払っている。
<input type="checkbox"/> 重点化している	<input type="checkbox"/> 休止している		
<input type="checkbox"/> 前年度と同様に継続している	<input type="checkbox"/> 他の事業と統合している		
<input checked="" type="checkbox"/> 見直し継続している	<input type="checkbox"/> 平成19年度で廃止・完了		
<input type="checkbox"/> 事業を縮小している			
目標値	6,837	結果指標量	6,837

総合評価		評価区分<A-E>	D
前年度より利用人数は増加しているが、依然として施設の認知度が低く、幅広く有効活用できていない。各種関係団体と連携を図りながら、この施設をボランティア活動の拠点として再構築していく必要があります。なお、利用人数は少ないことから、廃止も検討していく必要があります。			



平成21年度以降の方向性		説明	平成20年度で廃止・完了
<input type="checkbox"/> さらに重点化する(行政資源を集中的に投入する)	<input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する		
<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続する	<input checked="" type="checkbox"/> 休止・廃止を検討する		
<input type="checkbox"/> 見直しのうえで継続する	<input type="checkbox"/> 他の事業と統合を検討する		

平成21年度以降の改善事項			
評価の視点	改善内容	改善時期	改善により期待される効果
効率性	広報誌等で施設のPRを行う	毎年度	利用者の増加につながる
有効性	施設の認知度が低く、幅広く有効活用できていないことから廃止を含めて検討する。	平成21年度	経費節減